

静岡県浜松内陸コンテナ基地指定管理者選定委員会

1 開催日時

令和7年10月23日(木) 10:00 ~ 11:10

2 開催場所

静岡県庁別館2階 第一会議室C

3 出席者

(1) 委員

会長	静岡産業大学経営学部 特任教授、総合研究所 所長	中山 勝
委員	いずみ公認会計士事務所 公認会計士	和泉 清明
委員	静岡文化芸術大学文化政策学部 教授	田中 啓
委員	清水港利用促進協会 幹事	村松 卓
委員	静岡県商工会連合会 企画経営課 課長	設楽 真邦

(2) 県(事務局)

企業立地推進課 課長	山崎 浩希
産業国際班 班長	中村 大志
産業国際班 主事	松本 駿

4 会議録

別紙のとおり

各委員及び事務局の発言要旨を記載している。

発言者は特定していない。

静岡県浜松内陸コンテナ基地指定管理者選定委員会 会議録

1 開会

本委員会は、静岡県浜松内陸コンテナ基地指定管理者選定委員会設置要領第4条第4項の規定に基づき、非公開とする。

2 指定管理者募集の経緯及び選定方法の説明

事務局から、配布資料に基づき、指定管理者の募集の経緯及び選定方法について説明した。
また、申請者である公益財団法人静岡県コンテナ輸送振興協会は、募集要項に定める資格要件を満たしていることを報告した。

3 会長の選出

委員による互選の結果、中山委員を会長に選出した。

4 審査

(1) 申請者からの説明及び質疑応答

申請者が入室し、事業計画を説明した後、委員との質疑応答が行われた。

(委員)

今後の課題や運営上の課題に対してどのように対応するか。

(申請者)

先が見通せない時代ではあるが、人件費上昇を考えていかなければならない。そうなる
他の費用を圧迫していくため、適正な維持管理計画を作成し、厳密にしっかりと考えながら
取り組んでいく。

(委員)

人件費上昇に伴い、費用圧迫が考えられるが、委託業務の複数年契約等、経費縮減のため
にどのように取り組むのか。

(申請者)

まずは今ままでどおり、複数年契約に伴う経費縮減に取り組んでいく。また、今までの業
務を見直し、業務改善、事務の効率化に取り組む。

(委員)

利用者との良好な関係が構築されていると思うが、コンテナ基地の活用について要望等は
あるか。

(申請者)

コンテナラウンドユースや物流施設の自動化等、様々な視点からコンテナ基地のあり方検
討を行ってきた。あり方検討の結論にもなっているが、現段階で将来を予測して、確定的な

対策を示すことは難しいため、今後の状況を重視しつつ継続検討していきたい。

(委員)

利用料金の引上げ対応はできないか。

(事務局)

コンテナ基地の利用料金については、清水港の利用料金に準拠している。現在、静岡県港湾局内において、利用料金の引上げを検討中しており、次の議会に議案として提出することを予定している。決まった段階で報告したい。

(委員)

事務局職員の高齢化が進んでいるため業務引継ぎを意識した業務マニュアルの整備が課題と考えられるが、マニュアルの整備状況はどのようなようであるか。

(申請者)

業務マニュアルについては現在見直しを進めているところ。指定管理を20年間行ったことによるノウハウの蓄積を活用し、業務のブラッシュアップに取り組んでいきたい。

(2) 意見交換及び採点

申請者は退室し、委員による意見交換及び採点が行われた。

(委員)

指定管理者業務を長年にわたって実施してきたノウハウを有している。ノウハウを活用したより発展的な運営に期待したい。

(委員)

様々な制約の中、安定して運営できている。経費面、施設の維持管理についてしっかりと取り組んでいただきたい。節減についても、できるところから地道に実施していただければと考えている。

(委員)

施設老朽化に伴う事故発生リスクも高まってくる。少ない人数の中でも非常時にしっかりと対応できるように対策を講じていただきたい。平常時は問題なく運営できている。

(委員)

施設の運営には海貨業者の協力が不可欠だが、財団のこれまでの運営実績から見ても問題ないと思う。

(委員)

平常時は問題なく運営できている。今後は、自然災害含め、想定されていない不測の事態が生じる可能性も高まってくる。非常時に適切に対応できるように県との連携体制を密にさせていただくなど、今後も県との協議等を継続し対応してほしい。

(3) 採点結果の発表

事務局が、各委員の採点表を回収して集計し、結果を委員に報告した。

5人の委員の平均点は85点で、業務基準を満たしていないとする「0点」の評価項目は、全委員でなかった。

(4) 優秀者の決定

採点結果に基づき、公益財団法人静岡県コンテナ輸送振興協会を優秀者として決定した。

5 閉会

事務局から、今後の手続きの説明、審議への謝辞があった。